◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.359　（2022年度No.37）**　 　2022/9/22

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆



**ことしは　きのこの当たり年か**

**お世話になっております。**

**公園で見かけて撮影したキノコです。**

**今年の９月に見たキノコの中で、最も大きな傘のキノコでした。　藤平幸男**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-8** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **8/9** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **9/13** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **13-16** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **16-23** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

9月16日　　かわら版358号・かわら版ニュース＆トピックス270号を発行。

9月20日　　かわら版ニュース＆トピックス271号を発行。

9月22日　　かわら版359号・かわら版ニュース＆トピックス272号を発行。

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

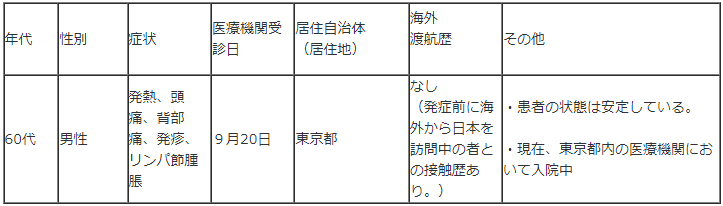
**■***NEW***サル痘の患者の発生について　2022/9/21**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28119.html>

　発熱、発疹等の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。



<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000992160.pdf>

　令和４年９月２１日　福祉保健局

サル痘患者の発生について

都内在住で、発熱・発疹・リンパ節腫脹等の症状を示し、令和４年９月２０日、都内の医療機関を受診していた方について、同日、検査の結果、サル痘の陽性が確定しました。

なお、報道機関各位におかれましては、患者様やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。医療機関への取材や直接のお問い合わせはお控えください。

【患者の概要】

年 代：６０代

性 別：男性

居住自治体（居住地）：東京都

症 状：発熱、頭痛、背部痛、発疹、リンパ節腫脹

海外渡航歴：なし（発症前に海外から日本を訪問中の者との接触歴あり。）

患者の状況：発疹の症状が認められるものの、状態は安定しています。現在、都内医療機関において入院中です。

**■***NEW***「第３回　清涼飲料水に係るＨＡＣＣＰ等に基づく衛生管理に関する評価検討会」を開催します（開催案内）　2022/9/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27908.html>

**■***NEW***令和４年９月２日　第83回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第11回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2022/9/16**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27733.html>

**■***NEW***令和4年版厚生労働白書－社会保障を支える人材の確保－（本文）　2022/9/16**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/21/index.html>

**■第84回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第12回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2022/9/14**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00051.html>

**■「コーデックス60周年記念プレイベント～コーデックスの60年を振り返る～」を　　　10月11日に開催します**

**～食品の国際規格に関するオンラインシンポジウムの参加者を募集～**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27911.html>

　　厚生労働省は、厚生労働科学研究「食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究」​研究班との共催で、シンポジウム「コーデックス60周年記念プレイベント～コーデックスの60年を振り返る～」を開催します。

　食品安全を取り巻く環境は、昨今のパンデミック、地政学的な国際情勢や地球環境問題等が加わり、新たな問題に直面しています。昨年は国連食料システムサミットが国連で開催され、今年はWHOが食品安全のグローバル戦略を策定するなど、国際的にも食品安全を確保する必要性が高まっています。

　今回のシンポジウムは、食品の国際規格を策定するコーデックス委員会が2023年に60周年を迎えることを記念して開催します。

　講演では、コーデックス委員会の食品安全分野の功績と、そこでの日本の活動を振り返ります。また、パネルディスカッションでは変化する国際環境の中、日本の次世代が主体的にかじ取りし、さらなる貢献をしていくうえでの課題と期待について、コーデックスに携わってきた講師の方々が議論します。

※コーデックス委員会は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

【シンポジウム開催概要】

１．開催日時　令和４年10月11日（火）15:00～17:30

２．開催形式　オンライン開催（Zoomウェビナー、YouTube配信）

※事前申し込みが必要です。

３．主　催

　　厚生労働科学研究「食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究」​研究班　（代表：国立医薬品食品衛生研究所 渡邉敬浩）

４．共　催

　　厚生労働省、農林水産省、消費者庁、食品安全委員会、東京大学未来ビジョン研究センター

５．定　員　300人（先着順）

６．申し込み方法

　　以下のイベント案内ページ（東京大学未来ビジョン研究センター ウェブサイト）からお申し込みフォームに必要事項を記入してお申し込みください。（定員に達し次第、受付を終了します）

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/13806>

　７．プログラム

　　　※登壇者・プログラムは都合により変更になる場合があります。

　　　　司会：松尾 真紀子（東京大学 公共政策大学院 未来ビジョン研究センター 特任准教授）

テーブル が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■職場における化学物質対策について　2022/9/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/anzeneisei03.html>

**■***NEW***原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2022/9/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28046.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、青森県に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限の指示がなされていた以下の品目について、出荷制限の解除を指示しました。

　（１）鰺ヶ沢町において産出された野生キノコ類（ムキタケに限る。）

　（２）階上町において産出された野生キノコ類（クリタケモドキに限る。）

１　青森県に対して指示されていた出荷制限の対象品目のうち、鰺ヶ沢町において産出された野生キノコ類（ムキタケに限る。）及び階上町において産出された野生キノコ類（クリタケモドキに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から青森県への指示は別添１のとおりです。

（２）青森県の申請は別添２及び別添３のとおりです。

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

[（別添１）（PDF:64KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000990584.pdf)  
[（別添２）（PDF:324KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000990585.pdf)  
[（別添３）（PDF:369KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000990586.pdf)  
[（参考資料）（PDF:1,363KB](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000990587.pdf)

**■原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2022/9/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27976.html>

　　本日、原子力災害対策本部は、福島県に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限の指示がなされていた以下の品目について、出荷制限の解除を指示しました。

　　（１）福島市において産出されたクサソテツ（栽培されたものに限る。）

　　（２）天栄村において産出されたフキ（野生のものに限る。）

１　福島県に対して指示されていた出荷制限の対象品目のうち、福島市において産出されたクサソテツ（栽培されたものに限る。）及び天栄村において産出されたフキ（野生のものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から福島県への指示は別添１のとおりです。

（２）福島県の申請は別添２及び別添３のとおりです。

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

[（別添１）（PDF:174KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000989292.pdf)  
[（別添２）（PDF:377KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000989293.pdf)  
[（別添３）（PDF:608KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000989294.pdf)  
[（参考資料）（PDF:1,356KB）](https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000989295.pdf)

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３０６報）　2022/9/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_27802.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.19/ 2022（2022.09.14）　2022/9/14**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202219m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202219m.pdf%20)

**目次**

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 産卵鶏が自由に出入り可能な鶏舎での飼育を行っている殻付き卵生産業者向けの最終ガイダンス

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 米国の複数州にわたり発生している原因食品不明の大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク（2022 年 9 月 1 日付更新情報）

2. 小型のカメに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella Stanley）感染アウトブレイク（2022 年 8 月 31 日付更新情報）

**【カナダ公衆衛生局（PHAC）】**

**1**. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染を調査中（2022 年 9 月 9 日付更新情報）

2. 公衆衛生通知：スポットエビ（spot prawn）に関連して複数州にわたり発生したノロウイルス感染と胃腸疾患のアウトブレイク（2022 年 6 月 23 日付最終更新）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. リスク評価方法に関する研修コース：不確実性解析、エビデンス評価における重み付け、および生物学的関連性の評価

**【Eurosurveillance】**

1. 高所得国における医療施設関連の食品由来アウトブレイク：経済協力開発機構（OECD）加盟 16 カ国を対象とした文献レビューおよびサーベイランスデータ解析（2001～2019年）

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）の科学雑誌「BfR2GO」第 10 号：BfR 設立 20 周年を特集

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.19/ 2022（2022.09.14）　2022/9/14**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202219c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202219c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【【WHO】ナノ及びマイクロプラスチック粒子の食事及び吸入暴露とヒト健康への意味**

世界保健機関（WHO）は、2019 年 8 月に公表した飲料水中のマイクロプラスチックに関する報告書に続き、食品や空気中も含めた包括的な暴露による健康リスクに関する報告書を発表した。2021 年 12 月までに入手可能なデータを対象にしている。総合的な結論では、現時点では必要とされるデータが不足しており、ヒトに対する暴露評価やリスク評価を行うことができないとしている。

**＊ポイント：** 経口と吸入暴露によるリスクの可能性については、2021 年に英国毒性委員会（COT）が、毒性や体内動態の情報がなく適切な分析法や標準物質もないことから評価できないと結論していました。今回の WHO のレビューでも同様の結論に至っています。特に、体内へ取り込まれると考えられる 10 μm より小さい粒子の定量とキャラクタリゼーションに係わる問題解決が重要だと指摘しています**。**

**【EC】 食品中のパーフルオロアルキル化合物の管理について**

欧州委員会（EC）は、EU 加盟国と食品事業者が協力して食品及び飼料中のパーフルオロアルキル化合物（PFASs）のモニタリングを行うことを促す委員会勧告とサンプリング及び分析法に関する委員会実施規則を発表した。

**＊ポイント： モニタリング期間は 2022 年から 2025 年で、欧州食品安全機関**

（EFSA）がグループ耐容週間摂取量（TWI）を設定した 4 つの PFASs が主な対象です。さまざまな食品を広く調査することに加えて、家畜への移行を考慮して飼料中の PFASsも可能なら測定することを勧告しています。EU では動物由来食品についてこれら 4 つのPFASs の最大基準値の設定が進められているようなので、近いうちに発表されるかと思います。

**【BfR】 キノコ：間違えると致命的**

ドイツでは自ら採取したキノコを食べた後に頻繁に中毒が発生しており、連邦中毒センターはキノコについて年間 3,000 以上の問い合わせに対応している。国内で人気のある食用キノコはハラタケ（Agaricus campestris）や食用のベニタケ属などである。採取者はよく食用キノコと有毒なタマゴテングタケ（Amanita phalloides：通称 death cap）を間違えている。タマゴテングタケに含まれる毒素は肝臓障害を誘発し、ごく少量を食べただけで致命的となるほど毒性が高い。ドイツで致命的となったキノコ中毒の少なくとも 80％はこのキノコが原因と推定している。ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）がキノコ採取に関する重要な助言を紹介する。

**＊ポイント：** 日本もキノコ狩りの季節となり、有毒なキノコとの誤認には注意が必要です。タマゴテングタケの毒性分はアマニタトキシンというペプチドの毒素で、日本では同類の毒成分を含むドクツルタケ（Amanita virosa）やシロタマゴテングタケ（Amanita versa）による死亡事例が報告されていますので注意しましょう

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第874回）の開催について　2022/9/**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年9月27日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３. 議事

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、9月26日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、9月27日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■食品ハザード情報ハブについて　2022/9/15**

<https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/>

　　食品ハザード情報ハブは、食品安全委員会を含む関係省庁が公表している食品ハザードに関する専門情報を効率的に入手して頂くためのページです。

食品ハザード情報ハブには、1.微生物と化学物質（2.水道水・清涼飲料水、3.汚染物質）のページがあります。

掲載情報

[1.「微生物等」のページはこちら](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_bio.html)  
ウイルス、細菌、寄生虫、プリオン等について

[2.「水道水・清涼飲料水」のページはこちら](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_drink.html)  
水道法、食品衛生法で基準値等が設定されている化学物質等について

[3.「汚染物質」のページはこちら](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_poll.html)  
一次産品に含まれるハザード、食品の製造過程で生じるハザード、かび毒・自然毒、その他食品に含まれる成分について

**施策リンク集**

[施策リンク集](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html)では、以下の項目ごとに関係省庁の情報を集めています。

[衛生管理](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#1) ／ [食中毒](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#2) ／ [微生物等](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#3) ／ [かび毒](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#4) ／ [自然毒](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#5) ／ [食品添加物](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#6) ／ [汚染物質（水道水・清涼飲料水を含む）](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#7) ／  
[農薬](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#8) ／ [肥料](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#9) ／ [飼料](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#10) ／ [動物用医薬品](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#11) ／ [薬剤耐性菌](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#12) ／ [プリオン](https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/foodhazinfohub/foodhazinfohub_link.html#13)

<https://www.fsc.go.jp/okaasan.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年8月20日から令和4年9月2日）2022/9/20**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=8&from_day=20&to=struct&to_year=2022&to_month=9&to_day=2&max=100>

**４．****<農水省関係>**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***群馬県における豚熱の確認（国内84例目）及び「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/9/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220921_1.html>

**本日、群馬県板倉町の養豚農場において家畜伝染病である豚熱の患畜が確認されたことを受け、農林水産省は本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の防疫方針について決定します。**

**現場及び周辺地域にも本病のウイルスが存在する可能性があり、人や車両を介して本病のまん延を引き起こすおそれがあります。現場及び周辺地域での取材は、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。**

**1.農場の概要**

**所在地：群馬県板倉町**

**飼養状況：約350頭**

**疫学関連農場：群馬県板倉町（2農場）**

**2.経緯**

**（1）群馬県は、昨日（9月20日（火曜日））、同県板倉町の農場から、飼養豚に異状がみられる旨の通報を受け、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施しました。**

**（2）群馬県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門（注）で精密検査を実施したところ、本日（9月21日（水曜日））、豚熱の患畜であることが判明しました**

**（注）国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門：国内唯一の動物衛生に関する研究機関**

**3.今後の対応**

**本日、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づく以下の防疫措置等について確認を行うとともに、万全を期します。**

**（1）当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施します。**

**（2）感染経路等の究明のため、国の疫学調査チームを派遣します。**

**（3）本病の早期発見及び早期通報の徹底を図ります。**

**（4）関係府省と十分連携を図るとともに、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努めます。**

**（5）農場の消毒や野生動物の農場への侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導を徹底します。**

**4.農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部**

**日時：令和4年9月21日（水曜日）（持ち回り開催）**

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/9/21**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220921.html>

農林水産省は、9月21日（水曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）マサチューセッツ州及びモンタナ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国マサチューセッツ州及びモンタナ州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年9月21日（水曜日）にマサチューセッツ州及びモンタナ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）生きた家きんについては、マサチューセッツ州は令和4年4月4日以降、モンタナ州は令和4年4月11日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

マサチューセッツ州ブリストル郡及びモンタナ州ティトン郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について**

**2022/9/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220920_2.html>

**農林水産省は、9月19日（月曜日）にフランスのアンドル・エ・ロワール県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**フランスのアンドル・エ・ロワール県の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年9月19日（月曜日）にアンドル・エ・ロワール県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。**

**※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。**

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/9/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220920.html>

農林水産省は、9月20日（火曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）オハイオ州及びテネシー州からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国オハイオ州及びテネシー州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年9月20日（火曜日）にオハイオ州及びテネシー州からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

【生きた家きん（家きんの初生ひな及び種卵）】

テネシー州全域

（参考）オハイオ州からの生きた家きんについては、令和4年4月1日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

オハイオ州アレン郡及びウィリアムズ郡並びにテネシー州オビオン郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

　　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/9/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220915_2.html>

農林水産省は、9月15日（木曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）アイダホ州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

米国アイダホ州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨米国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年9月15日（木曜日）にアイダホ州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和4年4月19日以降、一時輸入停止措置をしています。

【家きん肉、家きん卵等（※2）】

アイダホ州ツインフォールズ郡（発生郡）

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって、防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

**■フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/9/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220915.html>

農林水産省は、今般、フランスの一部県における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

フランスのドゥー・セーブル県の家きん飼養施設において確認された高病原性鳥インフルエンザに伴い設定された制限区域が隣接するシャラント県に及んだことから、シャラント県からの生きた家きん、家きん肉等について輸入を一時停止していました。

（参考）ドゥー・セーブル県からの生きた家きん、家きん肉等については、既に一時輸入停止措置をしています。

2.対応

今般、フランス家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置等の情報により、シャラント県の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付で当該一時輸入停止措置（※）を解除しました。

※発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/9/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220914.html>

　1.経緯

英国のディベド州の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年9月14日（水曜日）にディベド州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは、引き続き一時輸入停止措置をしています。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

　　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■水産物中のトリチウム分析結果の公表　2022/9/9**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/220909.html>

水産庁は、ALPS処理水の海洋放出の前から、同処理水中に含まれるトリチウムの水産物への影響を調査し、その懸念を払拭するため、令和4年度から、新たにトリチウムを対象とする水産物のモニタリング分析を開始しました。

今般、この分析結果を関係省庁の海水モニタリング結果とともに公表します。

**1.モニタリング分析の概要**

**水産庁は、北海道から千葉県の太平洋側で水揚げされた水産物を対象にトリチウムのモニタリングを実施しているところです。**

**今般、分析した結果、全てのサンプルで1キログラムあたり検出限界値未満（0.3ベクレル未満）となり、過去の分析結果と同程度でした。**

**（参考）**

**トリチウムの性質については、以下の水産庁ウェブサイトにて公表しています。**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/saigai/attach/pdf/index-117.pdf>

**2.分析結果の公表**

**分析結果については、以下の水産庁のウェブサイトにて公表し、今後も分析結果の公表を随時行います。なお、トリチウムの分析には、1検体あたり1.5か月の分析期間を要することから、サンプル受け入れ時期と公表時期にタイムラグが生じることになります。**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

**3.関係省庁の分析結果**

**環境省や原子力規制委員会では、東京電力福島第一原子力発電所の近傍海域及び宮城県から茨城県の沿岸海域等において海域モニタリングを実施しており、以下のウェブサイトにてトリチウム等の分析結果を公表しています。**

**環境省**

<https://www.env.go.jp/water/shorisui/committee/005.html>

**原子力規制委員会**

<https://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/428/list-1.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***株式会社TBSグロウディアに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令 について　2022/9/16**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/030238/>

　　消費者庁は、本日、株式会社TBSグロウディアに対し、同社が供給する「トルネードRFローラー」と称する商品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。

公表資料

株式会社TBSグロウディアに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令 について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms212_220916_01.pdf>

**■1日の作業時間が10分程度の簡単な作業で稼ぐことができるなどと勧誘し副業のガイドブックを消費者に購入させ、その後、電話勧誘により高額なサポートプランを契約させる事業者に関する注意喚起　2022/9/15**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/030231/>

　　1日の作業時間が10分程度の簡単な作業で稼ぐことができるなどと勧誘し副業のガイドブックを消費者に購入させ、その後、電話勧誘により高額なサポートプランを契約させる事業者に関する注意喚起を行いました。

詳細

令和3年6月以降、「1日の作業時間10分」の簡単な作業をするだけで稼ぐことができるなどというLINEのメッセージをきっかけに、最初に副業のガイドブックを購入させられた後、電話勧誘により高額なサポートプランを契約させられたという相談が各地の消費生活センター等に数多く寄せられています。

消費者庁が調査を行ったところ、株式会社レイズ及び株式会社ゼニスが、消費者の利益を不当に害するおそれのある行為(虚偽・誇大な広告・表示及び断定的判断の提供)を行っていたことを確認したため、消費者安全法(平成21年法律第50号)第38条第1項の規定に基づき、消費者被害の発生又は拡大の防止に資する情報を公表し、消費者の皆様に注意を呼びかけます。

また、この情報を都道府県及び市町村に提供し、周知します。

公表資料

1日の作業時間が10分程度の簡単な作業で稼ぐことができるなどと勧誘し副業のガイドブックを消費者に購入させ、その後、電話勧誘により高額なサポートプランを契約させる事業者に関する注意喚起[PDF:1.3 MB]

**問合せ先　消費者庁消費者政策課財産被害対策室　電話番号 03-3507-9187**

**■食品ロス削減啓発絵本「たべものかいじゅうあらわる!?」 の公表について　2022/9/15**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/030213/>

　消費者庁は、食品ロスについて親子で理解を深め、家庭において実践できる取組について考えていただくきっかけとして、食品ロス削減啓発絵本を作成しました。

当該絵本は、幼稚園・保育園の食品ロス削減啓発イベント等で配布するほか、消費者庁Webサイト上に電子版を掲載します。また、受託事業者である株式会社円谷プロダクションの公式動画配信チャンネルでも読み聞かせ動画を公開いたします。

詳細

1.概要

タイトル:　「かいじゅうステップ SDGs大作戦 たべものかいじゅうあらわる!?」

受託事業者:　株式会社円谷プロダクション

文・絵:　あおいけ りょうすけ(文)、きはら ようすけ(絵)

主な対象:　5～6歳程度の幼児

制作目的:

日々の食生活や食料の大切さを理解し、幼いころから食品ロス削減に対する意欲を身につけてもらうこと

2.絵本の公表方法について　本ページ下の関連リンクより御確認いただけます

(1)消費者庁Webサイトへの掲載「食品ロスの削減に関する取組について」

URL : <https://www.caa.go.jp/policies/future/project/project_008/>

(2)読み聞かせ動画の公開

円谷プロダクションが運営するYouTubeウルトラマン公式チャンネルにて公開

URL : <https://youtu.be/5lPGcg7so2A>

**公表資料**

* [食品ロス削減啓発絵本「たべものかいじゅうあらわる!?」プレスリリース[PDF:891.7 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/future_caa_cms201_220915_1.pdf)

**関連リンク**

* [食品ロスの削減に関する取組について](https://www.caa.go.jp/policies/future/project/project_008/)

**問合せ先**

**消費者庁新未来創造戦略本部　溝木、樋口**

**電話番号 088-600-0000　FAX番号 088-622-6171**

**■第6回 景品表示法検討会(2022年9月15日)　2022/9/14**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/029948.html>

**■株式会社アップドラフトに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について　2022/9/14**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/029903/>

　　消費者庁は、本日、株式会社アップドラフトに対し、同社が供給する「滝風イオンメディック」と称する商品に係る表示について、消費者庁及び公正取引委員会(公正取引委員会事務総局東北事務所)の調査の結果を踏まえ、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました

**公表資料**

* [株式会社アップドラフトに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について[PDF:349.5 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_01.pdf)
* [別紙1[PDF:2.1 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_02.pdf)
* [別紙2[PDF:953.5 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_03.pdf)
* [別紙3[PDF:2.1 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_04.pdf)
* [別紙4[PDF:1.0 MB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_05.pdf)
* [参考1ないし参考3[PDF:406.6 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_06.pdf)
* [別添[PDF:311.6 KB]](https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220914_07.pdf)

**■インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する要請について(令和4年4月～6月)　2022/9/12**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/extravagant_advertisement/assets/representation_cms214_220912_01.pdf>

**■新型コロナウイルスの抗原定性検査キットは国が承認した「体外診断用医薬品」を選んでください!　2022/9/9**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/025912/>

　　「研究用」と称して市販されている抗原定性検査キットは、国が承認した「体外診断用医薬品」ではなく、性能等が確認されたものではないことにご注意ください。

※新型コロナウイルス感染症に係る一般用抗原定性検査キットが薬機法に基づき承認を得て、製造販売されることになったことを踏まえ、令和4年9月9日、周知に当たってのリーフレットを別添のとおり改訂しました。

公表資料

新型コロナウイルスの抗原定性検査キットは国が承認した「体外診断用医薬品」を選んでください!　 <https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms209_220909_01.pdf>

**■株式会社山田養蜂場に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022年09月09日**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/029930/>

　消費者庁は、本日、株式会社山田養蜂場に対し、同社が供給する「ビタミンD+亜鉛」と称する食品、「1stプロテクト」と称する食品及び「2ndプロテクト」と称する食品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

**公表資料**

**株式会社山田養蜂場に対する景品表示法に基づく措置命令について**

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_01.pdf>

**別紙1**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_02.pdf>

**別紙2**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_03.pdf>

**別紙3**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_04.pdf>

**別紙4**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_05.pdf>

**参考**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_06.pdf>

**別添**<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220909_07.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★佐藤食品「しばキュウ」 - 返金／回収　賞味期限表示の欠落　2022/9/22**

**★たまや「しらす干し（解凍）」 - 返金／回収　フグ（約1センチメートル）が混入していたため　2022/9/21**

**★はくばく「もっちり美味しい発芽玄米+五穀、もっちり美味しい発芽玄米+もち麦」 - 返金／回収　「中身」と「資材（食品表示）」の内容相違　2022/9/20**

**★JAうすきたまごファーム「国産鶏卵Mサイズパック」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.10.02、正：22.9.25）　2022/9/16**

**★水野商店「うまか～甘のし」 - 返金／回収　商品にカビが発見されたため　2022/9/16**

**★マルコメ「料亭の味 西京焼き用みそ」 - 返金／回収　商品の一部にカビが混入している可能性があるため　2022/9/16**

**★神戸物産「黒にんにく」 - 返金／回収　一部商品においてカビの発生が確認されたため　2022/9/16**

**★TAKEO「昆虫煮干し 山梨かいこ蛹 甲州みそ味」 - 返金／回収　賞味期限の誤表記（誤：2022.12.08、正：2023.01.08、2023.03.17、2023.04.11）　2022/9/15**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■記者発表資料　2022/9/16　福岡県京都郡**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/174418.pdf>

　次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。

１ 事件の探知

令和４年９月１６日（金）、京都郡の医療機関から、食中毒様症状を呈した患者を診察した旨京築保健福祉環境事務所に届出があった。

２ 概要

同事務所が調査したところ、９月１５日（木）に京都郡内の飲食店を利用した２名が、同日から吐気等の症状を呈していることが判明した。

現在、同事務所において、食中毒及び感染症の両面から調査を進めている。

３ 発生日時　調査中　判明分：令和４年９月１５日（木）午後１時頃（初発）

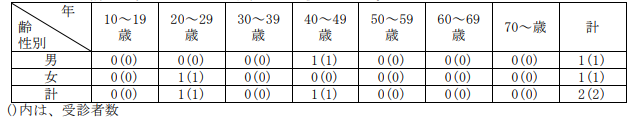
４ 摂食者数　調査中　判明分：２名

５ 症状　調査中　判明分：吐気等

６ 有症者数　調査中　判明分：２名（男性１名、女性１名）

両名とも医師の診察を受けているが、入院はしていない。

重篤な症状は呈しておらず、ほぼ回復している。



　７ 原因施設、原因食品、原因物質　調査中

８ 検査　福岡県保健環境研究所で有症者及び従事者の便等を検査予定

９ その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（９月１６日時点。調査中の事件を除く）

**■【食中毒】熊本市の飲食店で男女5人が「鳥肉の刺身」を食べ 発熱や下痢【またカンピロバクター菌】　9/21(水) 16:11配信　RKK熊本放送****熊本県熊本市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9765dd63cc250d9ba69cc904e13de52e100cbe7e>

**【報道資料】熊本市内の飲食店での食中毒発生に伴う営業停止処分について**

**最終更新日：2022年9月22日　熊本県熊本市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=44548&class_set_id=2&class_id=3708>

本日、食中毒発生に伴い飲食店への営業停止処分を行いましたので、お知らせします。

　1　概要

　（1）探知

令和4年（2022年）9月14日（水）12時、熊本県健康危機管理課から「9月9日（金）に熊本市内の飲食店を有明保健所管内の住民1名を含む10名で利用し、3名が体調異常を呈している。」との連絡がありました。

（2）調査

　当該グループは職場の同僚10名で、9月9日（金）19時頃から当該飲食店で食事をしており、9月10日（土）から9月13日（火）にかけて5名が発熱、腹痛、下痢などの症状を訴え、うち2名が医療機関を受診していることが判明しました。

（3）決定

有症者5名の共通食に、当該飲食店での食事があり、また、有症者の検便検査結果、有症者の喫食状況や発症状況、当該飲食店での調理状況から、この飲食店の食事を原因とする食中毒と断定し、この飲食店に対して営業停止を命じました。

　2　有症者の状況

　（1）発症日時　　令和4年（2022年）9月10日（土）12時（初発）

　（2）主な症状　　発熱、腹痛、下痢

　（3）喫食者数　　10名

（4）有症者数　　5名　内訳：男性3名（20代1名、30代1名、40代1名）

女性2名（20代1名、40代1名）

　（5）その他　　　医療機関受診者2名（入院者0名）　　有症者は快方に向かっています。

　3　原因食品　9月9日（金）に当該飲食店で提供された食事（加熱不十分と思われる鶏肉料理を含む）（19時頃喫食）

　4　病因物質　　　カンピロバクター・ジェジュニ

　5　原因施設

　（1）名称（屋号・商号）　那(な)由(ゆ)多(た)

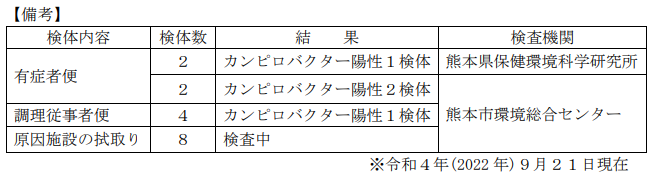
　（2）業種　　　　　　　　飲食店営業（一般食堂）

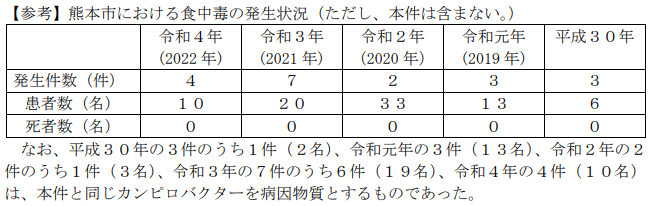
　（4）営業所所在地　　　　熊本市

　6　措置等　営業停止　令和4年（2022年）9月21日（水）から9月22日（木）までの2日間

　報道資料

<https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=44548&sub_id=1&flid=315419>





**★ウイルスによる食中毒★**

**■**

**★寄生虫による食中毒★**

**■鮮魚店で買った刺し身にアニサキス、福井の20代男性が食中毒　4時間半後に腹痛**

**2022年9月22日 午前10時48分　福井新聞オンライン　福井県福井市**

**アニサキス**

<https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1634815>

**■船橋の居酒屋で食中毒　胃にアニサキス　イワシの刺し身原因か**

**9/17(土) 17:02配信　千葉日報****千葉県船橋市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a4b37b1ddb6d13b972c288c92b264eda6322a470>

**食中毒の発生について　千葉県船橋市**

**アニサキス**

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kenkou/eisei/001/p105822.html>

探知

令和4年9月15日（木曜日）、市内飲食店の利用客から「9月14日（水曜日）に飲食店を利用し、体調不良になった。受診した医療機関でアニサキス虫体が摘出された。」旨の届出があり、船橋市保健所衛生指導課が調査を開始した。

概要

調査の結果、患者は9月14日（水曜日）午後2時頃に飲食店「大衆酒場　増やま」を1人で利用し、イワシの刺身等を喫食していた。また、同日午後5時頃から吐き気、腹痛、下痢を示し、15日（木曜日）朝に医療機関を受診していた。

患者は、アニサキスが寄生している可能性のある生の魚を当該飲食店のみで喫食しており、症状がアニサキスによるものと一致していた。また、受診した医療機関で患者の胃からアニサキス虫体が摘出され、診察した医師から食中毒患者等届出があった。

以上のことから、船橋市保健所長は当該飲食店を原因施設とする食中毒と断定し、当該飲食店の営業一部停止処分を行った。なお、患者は回復している。

喫食者数　1人

発症者数　1人（40代男性1人）

主な症状　吐き気、腹痛、下痢

発症年月日　令和4年9月14日（水曜日）

原因施設

所在地：船橋市

屋　号：大衆酒場　増やま

業　種：飲食店営業

原因食品　イワシの刺身

病因物質　アニサキス

行政措置　営業一部停止1日間

令和4年9月16日（金曜日）

※生食用鮮魚介類（冷凍品を除く。）の調理販売に係る営業の停止

船橋市における食中毒発生状況

令和4年度　発生件数 7件、患者 138人（＊本件を含まず）

令和3年度　発生件数 1件、患者 3人

令和2年度　発生件数 5件、患者 5人

**★自然毒による食中毒★**

**■フグの肝臓食べ70代男性が意識不明　知人から譲り受け自分で調理し食べたか**

**9/21(水) 18:31配信　ＡＴＶ青森テレビ****青森県五所川原市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/af13c490db6e085ea2e00dacfa651485656548df>

**食中毒が発生しました　2022/9/21　青森県五所川原市**

**動物性自然毒　ふぐ**

<https://www.pref.aomori.lg.jp/release/2022/71875.html>

　内容

1 概要

(1)令和4年9月21日(水)午前8時50分頃、西北地域県民局地域健康福祉部保健総室(五所川原保健所)に、管内の医療機関から「フグを喫食して意識不明の患者が入院している。」旨の連絡があった。

(2)同室の調査の結果、入院中の患者は、9月18日(日)に患者が従事する飲食店の調理室で、フグの肝臓を自家用として喫食していることが判明した。なお、当該飲食店では、利用客へのフグの提供は行っていない。

(3)同室では、医師から食中毒の届出があったこと、患者の臨床症状及び喫食状況から、フグによる食中毒と断定した。

2 発生年月日 令和4年9月18日(日)

3 喫食者数 1名

4 患者数 1名(入院中:70歳代男性)

5 主な症状 手のしびれ、血圧低下、発熱、意識不明

6 原因施設 飲食店調理室

7 原因食品 フグ(マフグ(推定))

8 病因物質 動物性自然毒

**■【再掲行政発表追加】自宅の畑に植えてあった有毒植物イヌサフランを誤食…60代女性が食中毒に　死に至ることも…保健所が注意呼びかけ　9/14(水) 21:31配信　BSS山陰放送****島根県松江市**

**植物性自然毒　イヌサフラン**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b9b0d3f2792e12d24ce24386692c4dd4a6a470c1>

**イヌサフランによる食中毒の発生について　2022/9/14　島根県松江市**

**植物性自然毒　イヌサフラン**

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kenkou/hokeneisei/shokuhinn/index.data/220914inusahuran.pdf>

　１ 概 要

９月１４日、松江市内の病院から松江保健所に、「下痢症状を呈した患者１名が受診され、イヌサフランを喫食したとのことから、食中毒と判断した」旨の連絡がありました。

同保健所は、診察した医師から食中毒患者の発生届が提出されたこと、患者の症状及び聞き取り状況から、原因食品をイヌサフランとする食中毒と判断しました。

なお、患者は経過観察のため入院中です。

２ 患 者 １名

　　鳥取県在住 ６０歳代 女性

　　主な症状：下痢、腹痛

３ 原因食品

　イヌサフラン（推定）



**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について（第２報）（令和4年９月２１日）　福岡県**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/tyoukansyukketusei040921.html>

　　腸管出血性大腸菌感染症の発生について、９月２１日１４時００分に報道提供しましたのでお知らせします。

　なお、提供資料については、以下のＰＤＦをご覧ください。

記者発表資料

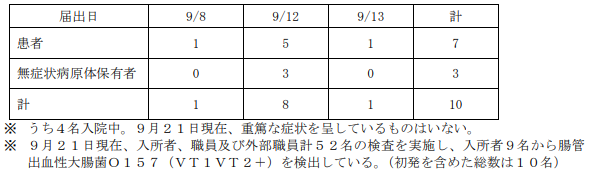
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/174684.pdf>

腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について（第２報）

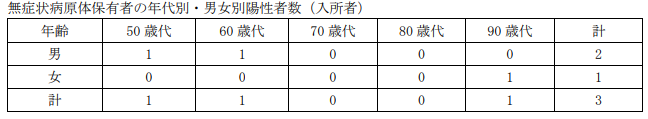
令和４年９月１２日、糟屋郡内の高齢者福祉施設における腸管出血性大腸菌感染症の集団発生について公表していたところですが、当該施設の入所者、職員及び外部職員の検査がすべて終了したことから、その結果をお知らせします。

１ 発生状況

（１） 高齢者福祉施設（入所者）における発生状況







２ 原因

摂取した食品から腸管出血性大腸菌は検出されず、又、調理従事者についても検査陰性であり、現時点において明らかな原因については不明。

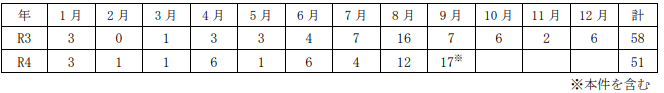
３ 行政対応

粕屋保健福祉事務所が、患者及び患者が入所する高齢者福祉施設に対し健康調査、疫学調査を実施し、まん延防止の指導を行った。

　　※ 腸管出血性大腸菌感染症患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）

（令和４年９月２１日現在）



**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■**

**★その他関連ニュース★**

**■石川県内の飲食店などに衛生管理の一斉指導　食中毒や有毒なキノコに注意を**

**9/21(水) 19:32配信　テレビ金沢**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2fab0ef526772f998c2d1a3c7180133b292466ef>

**■食欲の秋「キノコの食中毒にご用心」 秋の食品衛生一斉監視指導始まる**

**9/21(水) 16:11配信　MRO北陸放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/37ae3bdae60a24fbb4f6b2247f01a9ee6370e801>

**■【感染症情報】手足口病・感染性胃腸炎4週連続増 - RSウイルス感染症も2週連続で増加**

**9/20(火) 15:10配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/95a0163799f928e13c19a2b93880d26405236844>

**■手足口病が4週連続増加、11都道県で警報レベル - 5－11日の1週間の患者報告数**

**9/20(火) 13:30配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c9b2717d67d8b8d98e9ca2bd7238cb7f8b1d6f71>

**■生食用牛肉でO157食中毒死　緊急立ち入り調査開始　京都市保健所、300施設に**

**9/16(金) 18:31配信　京都新聞**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/82dd4ecfa935d222f90b8e5e08ce3f08cf57e4c0>

**■サル痘病変部位から性的接触に伴う伝播の可能性も - 感染研が国内外の状況など報告**

**9/15(木) 17:15配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7f531ab8862e0ad45b30e800e94b68a99a7f5f58>